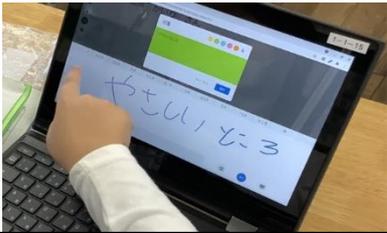
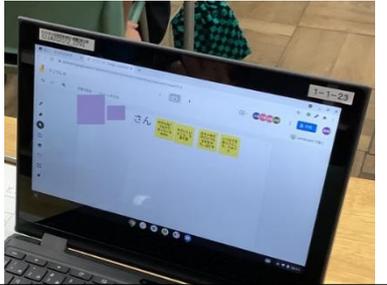


考えを伝え合うためにアプリを活用した事例

校種・学年	小学校・2学年	活用場面	導入	展開	まとめ
【教科】科目等	特別の教科 道徳	単 元	A 主として自分自身に関すること [個性の伸長]		
活用する ICT 機器	タブレット端末	活用する アプリ	授業支援ソフト (まなびポケット)		
ICTを活用する思い・動機			ICT活用の様子 (写真等を含む)		
<p>コロナ禍においても ICT 機器の活用をすれば、自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりすることができる。直接話し合うことはできないものの ICT 機器を使って効果的な交流ができるのではないかと考えた。</p>			 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自分の考えを指で入力して送信</p>		
<p>授業実践</p> <p>教材を通して話し合いを行った後、自分の特徴である長所に気付き、そのよさを実感しようとする心情を育てるために、Jamboard を使って、子供が互いに長所を伝え合う活動を行う。あらかじめ教師が一人一人のフォルダを作成し、子供は4～5人の友達のよい所を入力する。最後は自分のフォルダを開いて、友達からの意見を確認する。</p>					
<p>成果・課題・留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさに気付いていない子供たちが多くいる中、ICT 機器を活用してたくさんの友達から自分のよい所を伝えてもらうことによって、改めて自分のよさに気付くことができた。 ・ICT 機器を使って、互いのよさを伝え合うだけで授業が終わらないようにする必要がある。友達の考えを聞いて、どう感じたか、今後どのように生かしていきたいか等についても全体で意見交流ができるようにする。 			 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">友達からの意見を確認する</p>		